

医薬品情報データベース検索システム

インターネットによる調剤薬局支援サービスの機能強化に貢献

医薬分業が進展するなかで、(株)イーメディカルが提供を開始した日本初のインターネットによる調剤薬局支援サービス『Apobahn®(アポバーン)』が注目を集めています。調剤薬局の薬剤師に最新の医薬品情報や業務支援ソフトをASP(アプリケーションサービスプロバイダ)として提供する新しいビジネスモデルです。

『Apobahn®』は「Windows®2000」のプラットフォームで構築されていますが、今回紹介するのは、この『Apobahn®』の新しいWebサービスとして開発された「医薬品情報データベース検索システム」です。本システムは、マイクロソフトの最新の「.NETテクノロジー」のもとで構築されています。

- **薬剤師の服薬指導を支援するために**
—— 調剤薬局支援サービス『Apobahn®』とは
- **信頼性、セキュリティ、安全を最優先に**
- **.NET Frameworkによる開発**
- **『Apobahn®』の普及で社会に貢献**

Profile

(株)イーメディカル

2000年10月に、(株)ジェイアール東日本情報システム、ソフトウェア開発会社の(株)エス・エス・イー、薬局向け業務ソフトウェアベンダーの(株)データホライゾンの3社共同出資で設立された。

3社は、東京薬科大学医薬情報技術研究グループと、インターネットを活用した薬局・薬剤師支援システムの共同研究とその事業化の検討を進めてきた。そして、東京薬科大学の協力のもと、2001年4月に国内初の調剤薬局支援サービス『Apobahn®』の提供を開始している。この事業は、産学共同プロジェクトによる新しいビジネスモデルとしても画期的で、5年後には1万店舗のユーザー獲得を目標としている。



株式会社イーメディカル

お問い合わせ先 〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-11-1
外口ポリタンプラザ16F / 電話(03)5911-2451

ホームページ
<http://www.emedical.co.jp>

薬剤師の服薬指導を支援するために

今回開発された「医薬品情報データベース検索システム」は、『Apobahn®』のユーザーにWebサービスで提供される新機能です。その第一弾として、2002年秋から「妊婦授乳婦服薬支援情報」の提供が開始されました。

「『Apobahn®』は当社と調剤薬局を結ぶプラットフォームであり、それをベースに専門性の高い情報をWebサービスで提供することが当社の大きな使命です。情報の内容はもちろん、多忙な薬剤師さんにとって使いやすく実務で役立つシステムにすることを第一に考えました」とイーメディカルの八巻善宣常務取締役は語ります。

最初のサービスを「妊婦授乳婦服薬支援」としたのはどのような理由からでしょうか。

情報づくりで大きな役割を果たしている東京薬科大学薬学部ドラッグラショナル研究開発センターの寺澤雅治研究員にお聞きしました。

「薬局・病院では、薬剤師が処方内容と患者の症状や訴えをもとに薬の説明や服用上の注意などの説明を行っています。その場合、医薬品の効能や副作用、服用上の注意などが記載されている添付文書を参照します。しかし、薬の種類は膨大であり、添付文書情報をCD-ROMなどで収集している機関もありますが、羅列的な情報では現場において検索するだけでも大変なことです。患者の属性に関連する添付文書中の項目を個々の医薬品検索により簡単にピックアップできれば使いやすくなるはず。そしてこれらの情報を共通のフォーマットで整理し、そこに大学の研究や評価によって得られた知見もセットにして提供できるのではないかとというのが最初の発想でした。」



東京薬科大学
寺澤研究員

最初の対象を妊婦授乳婦としたのは、特に副作用や安全性において配慮が必要な方だからです。今後、小児や高齢者、アレルギー体質の方などといった形で広げていく計画です。

医薬品の世界では次々と新薬が登場し、日々新しい情報が生まれてきますが、ネットを使うことにより常に最新情報を収集・評価し、それらを提供するといったスパイラルリングを構築することができます」

信頼性、セキュリティ、安全を最優先に

イーメディカルにおいて、システムを担当しているのがジェイアール東日本情報システムです。鉄道システムづくりで培った技術をもとに、『Apobahn®』のシステム構築でも中心的役割を果たしました。同社は早くからWindows®環境でのシステム開発に取り組んでいます。

「薬局の基幹業務をサポートするシステムとしての信頼性、ネットを介して個人情報が出漏れないセキュリティ、そして患者の安全を守ることが最優先のテーマです。情報が増えユーザーが拡大する将来に備えた拡張性、パッケージ型の業務支援コンピューターに対抗できるコストパフォーマンスなども考慮して、デファクトスタンダードでもあるWindows®を選択しました。」

『医薬品情報データベース検索システム』の構築では、『Windows® DNA』の次世代アーキテクチャーとして『.NET Framework』が開発中であるという情報を得て、マイクロソフトから提供されたプロトタイプの評価も行ったうえで、先行的な開発を行っている(株)ネクスタイドにシステム構築を委託することにしました」と、システム開発部薬剤師支援開発プロジェクトの田村典昭サブリーダーは、『.NET Framework』を選定した理由を語ります。



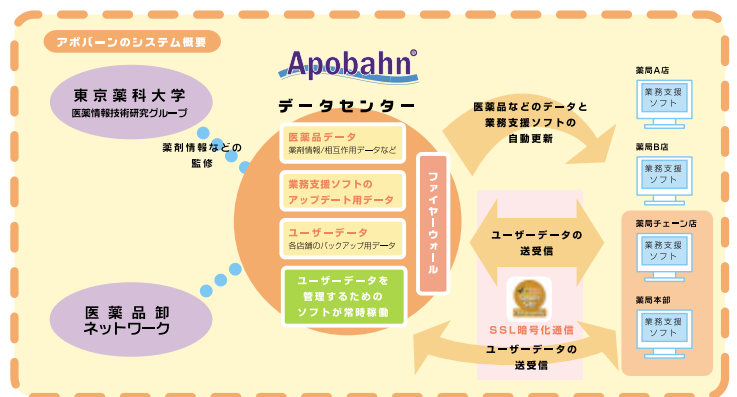
ジェイアール東日本情報システム
田村サブリーダー

調剤薬局支援サービス『Apobahn®』とは

1990年の医療保険制度の改革をきっかけに医薬分業が進み、病院外の調剤薬局で薬を調剤してもらうケースが増えています。調剤薬局には膨大な量の医薬品や処方箋の管理、保険会計処理に加えて、患者一人一人に対して安全で高品質なサービスの提供が求められるようになっています。

これに応じて、ネットワークを通じて最新の医薬品情報や業務ソフトを提供し、調剤薬局を支援する目的で開発されたのが『Apobahn®』です。ジェイアール東日本情報システムに設置した「データセンター」で医薬品情報やアプリケーションソフトウェア、ユーザーデータを一括管理し、各薬局に対して情報提供と業務支援を行う一方で、医薬品卸ネットワークとも接続して受発注業務などの効率化も実現します。最大の特徴は、東京薬科大学医薬情報技術研究グループの監修による新薬情報や薬の相互作用情報、さらにはメーカーや行政機関の情報なども含めて、各薬局に最新情報を迅速に提供できることです。

システム構成では、データセンターのDBサーバのOSに「Windows® 2000 Advanced Server」、Webシステムに「IIS5.0」、データ管理のアプリケーションには「SQL Server 2000 Enterprise Edition」を採用、拡張性やセキュリティを十分配慮したシステムとなっています。



.NET Frameworkによる開発

そこで、実際にシステム構築を担当した(株)ネクスタイドに取材しました。

ネクスタイドは、(株)日立製作所とマイクロソフトコーポレーションの共同出資で設立されたトータルソリューションプロバイダーです。マイクロソフトが初めて出資したSIベンダーであり、マイクロソフトの先進技術と日立のシステム構築のノウハウを融合して、Windows®環境での最新のソリューションを提供しています。

今回は、マイクロソフトが2001年末から日本向けに準備していた『.NET Framework』のプロトタイプをいち早く活用して先駆的なシステム構築を進め、製品版への切り替えについても技術支援を行っています。

「『.NET Framework』は、開発生産性に優れ、高品質なソリューションを短期間かつ低コストで実現できます。Webサービスにおける拡張性や接続性、メンテナンス性にも優れています。特に、多様なデータベースから必要なデータを柔軟に引き出して独自のデータベースを構築するのに最適です」と、第1ソリューション営業部の西崎勝俊セールスレプリゼンタティブ。

「今回は、『.NET Framework』『Visual Studio .NET』『ASP .NET』『ADO .NET』『XML Webサービス』の『.NETシリーズ』をフルに活用し、システム構築はわずか5名/1カ月で完了しました。うち4名はソースおよび画面設計で、Webサービスの18機能のプログラム設計・開発は1名で実現しています。

開発にあたって、お客様に『.NETシリーズ』に関する詳細な技術情報をオープンにし、コンセプト段階からコミュニケーションを深めて

きたことが成功につながりました」と、システムインテグレーション部の髙藤孝典SEは振り返ります。

『.NETテクノロジー』は今後、部品情報や特許情報の検索といった、膨大なデータベースの中から、特定の目的で情報を切り出してデータベースを再編集し、新しいポータルサイトを構築するといったソリューションで大きな力を発揮するはず。ネクスタイドでは、今回の実績を生かし、本格的にソリューションビジネスを展開していくことにしています。

『Apobahn®』の普及で社会に貢献

「医薬品情報データベース検索システム」の共用開始にあたって、イーメディカルの八巻常務取締役に今後の抱負を語っていただきました。

「『Apobahn®』はモニターテストの段階を終えて、いよいよ本格的に新規会員の獲得をめざしていきます。その有力なツールとして確かな手応えを感じています。

『Apobahn®』が普及すれば、情報の共有化によって、待ち時間が減り、患者一人一人にあった、より質の高い服薬指導を受けられるようになるでしょう。東京薬科大学による学術的な成果を活用し、より魅力あるWebサービスを拡大して、新しい医療社会に貢献していきたいと考えています」

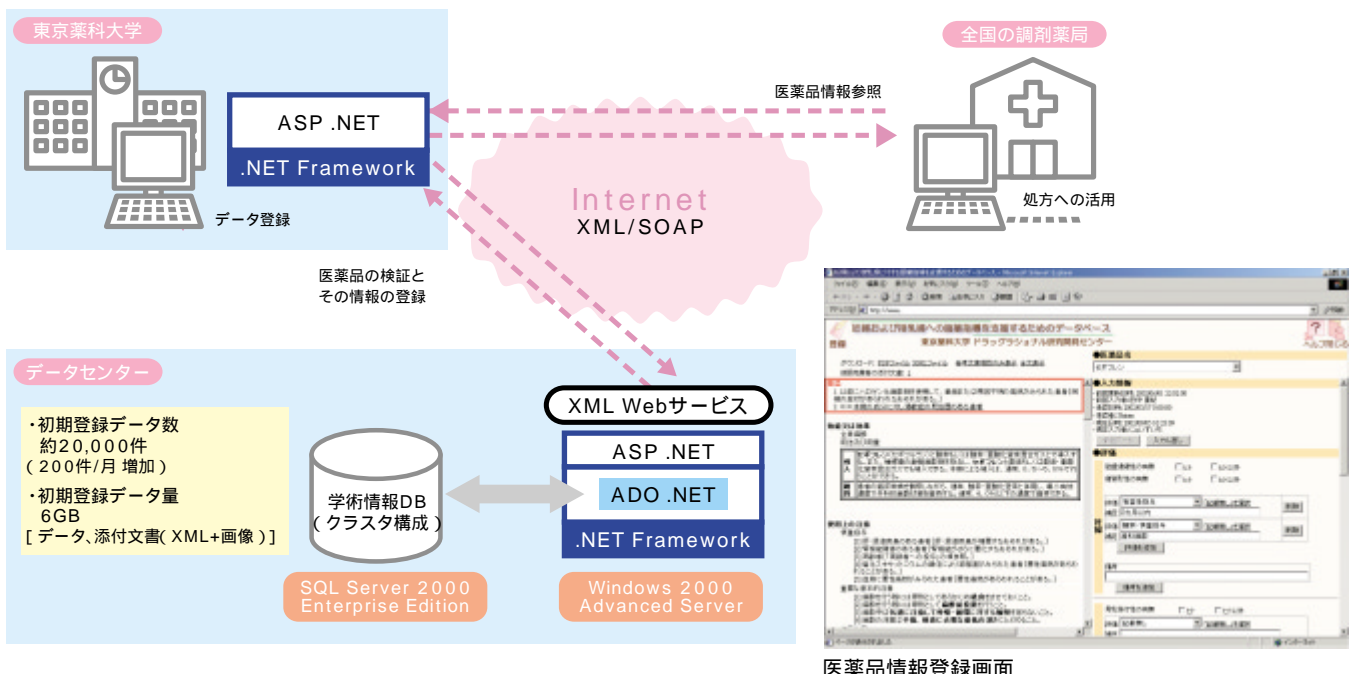
『.NETテクノロジー』の先駆として大きな発展が期待できます。



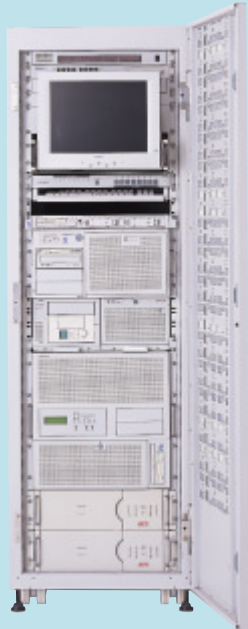
イーメディカル
八巻常務

システム構成

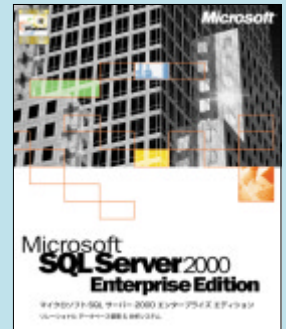
妊婦授乳婦服薬支援・医薬品情報データベース検索システム



HA8000



本システムで使用しているソフトウェア



Microsoft
.net

Microsoft
GOLD CERTIFIED

Partner

ネクスタイドはマイクロソフト認定ゴールドパートナーです。

Microsoft
GOLD CERTIFIED

Partner

日立製作所はマイクロソフト認定ゴールドパートナーです。

株式会社 日立製作所とマイクロソフトコーポレーションは、広範囲な顧客企業のニーズへの対応を目的として、合併会社の設立を含む包括的な提携を行いました。この提携により、両者は、共同でマイクロソフトのMicrosoft® Windows®2000をベースとした企業向けプラットフォーム(Microsoft® Windows®2000、およびMicrosoft® SQL Server、Microsoft® Exchange Server、Microsoft® BizTalk Serverを含むWindows®2000上で稼動するサーバ製品群とMicrosoft® COM +などを含むマイクロソフトテクノロジー)と日立が豊富な実績を持つ幅広いソリューションを統合し、あらゆる規模の顧客に対して、オープンシステムを通じ、新たなビジネスバリューを提供していきます。

- ・Microsoft、.NETロゴ、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・Microsoft® SQL Serverは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- ・IIS 5.0の正式名称は、Internet Information Services 5.0です。
- ・その他記載の会社名、製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

お問い合わせ先

nextide

株式会社 ネクスタイド
〒141-0021
東京都品川区上大崎2丁目24番9号(1Kビル4階)
TEL / 03-5745-7100

株式会社 日立製作所

Windowsソリューションセンター
〒212-8567
川崎市幸区鹿島田890(日立システムプラザ新川崎)
TEL / 044-549-1111(代)
mail : win_cstudy@ml.itg.hitachi.co.jp